サイバーセキュリティ通信 Vol.6

令和３年８月

サイバァちゃん

家庭用ホームルーターに脆弱性、確認とアップデートを！

Tenable社のセキュリティ研究者は、少なくとも10年以上前から存在していた家庭用ホームルーターの脆弱性（CVE-2021-20090）について発表しました。

脆弱性が確認された対象製品には、Arcadyan製のソフトウェアが使用されており、この脆弱性を悪用すると、不正アクセスすることが可能になるとのことです。

脆弱性の深刻さを１～10で表すCVSSスコア（10が最も深刻）は9.8で、既に本年２月以降から発生しているIoTデバイスを標的とした攻撃キャンペーンにも悪用されていたそうです。

以下に脆弱性が存在するBuffalo製品の一覧を掲載していますが、同じ脆弱性は、海外メーカーの製品にも多数確認されています。

使用しているルーターのメーカーから発表されているセキュリティ情報を確認し、該当する場合はアップデートを実施するか、回避策や緩和策を実施しましょう。

＜脆弱性が存在するBuffalo製品＞

デバイス	問題が確認されたバージョン
WSR-2533DHPL2	1.02
WSR-2533DHP3	1.24
BBR-4HG	
BBR-4MG	2.08 Release 0002
WSR-3200AX4S	1.1
WSR-1166DHP2	1.15
WXR-5700AX7S	1.11

（Tenable社ホームページより）

長崎県警察本部サイバー犯罪対策課
095-820-0110（3451・3452）
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ e103107@police.pref.nagasaki.jp

サイバー犯罪対策課
公式LINEアカウントで
情報配信中！
友だち登録お願いします！

@387ojopi